

2 (3) 授業の質的改善のプロセス (B校第5学年)

(イ)「話し合う学習活動」における授業の質的改善

検証授業① (10月実践)

本時の目標

今後の水産業が力を入れる漁業を考え、表現することができる。

【社会的な思考・判断・表現】

本時に取り入れる手立て

D⑤考えをペアやグループで伝え合わせる。

本時の授業の様子

学 習 活 動	授業の様子 (T…教師, C…児童) 質的改善を図った手立て (ゴチック)
1 論題の確認をする。	
論題「日本はこれからとる漁業とつくり育てる漁業のどちらに力を入れるべきか」	
2 論題に対する自分の考えをもつ。 〈個人〉	T: とる漁業に力を入れるべきだと思う人 (挙手をさせる) T: つくり育てる漁業に力を入れるべきだと思う人 (挙手をさせる)
3 資料を基に、理由を考える。	T: 教科書とノート、資料集を使って、理由を考えてください。
 <p>【同じ考えのグループで意見交流をしている様子】</p>	<p>「～だからです。」と書きます。</p> <p>D⑤考えをペアやグループで伝え合わせる。</p>
 <p>【黒板に自分の考えを書いている様子】</p>	<p>T: とる漁業の人は、黒板の前に集まりましょう。つくり育てる漁業の人は、教室の後ろの方に集まりましょう。5人と意見を交換したら、先生のところにノートを持ってきてください。</p> <p>C: (児童はそれぞれの場所に移動する。) (5人に伝えた児童は、教師にノートを持っていく) (教師にノートを見せた児童は、黒板に考えを書く。)</p>
4 考えたことを発表する。 〈学級全体〉	<p>C: 育てる漁業だと時間が掛かるけど、つくり育てる漁業だと時間が掛からないからです。</p> <p>C: つくり育てる漁業では生産量が… (黒板に書いた自分の意見を次々と発表する。)</p>

5 質問や反対意見を言う。

根拠となる資料はどれですか？



【教師からの問い掛けに対し、根拠となる資料を示す児童】

グラフを見ると…



【資料を手掛かりに自分の考えを言う児童】

T: 質問したいことなどありませんか。

C: つくり育てる漁業も取り過ぎて困ることがあるのではないですか。

C: 海からまた魚の卵をとってあげればいいと思います。

T: 魚の卵をとってきて、また作り育てるってことですか。

C: 多くつくりすぎても、とる人が大変だと思います。

T: 多くなりすぎるって質問ですか？ どうですか？

C: とる漁業だと生産量が少ないので、つくり育てる漁業に力を入れるべきだと思います。

T: 先生からも質問があります。生産量の話がありましたが、それはどこに書いてあるのですか。

C: 教科書の 100 ページにあります。

C: 沖合漁業の生産量が多いです。つくり育てる漁業を増やした方がいいです。

C: でも、沖合漁業は増えたり減ったりしているので、また減るかもしれません。

T: 生産量のこと、ほかに意見はありませんか。

C: 今のデータでは増えるかもしれません。

T: 沖合漁業がこれからも上がっているかもしれないってことですか？

T: 生産量がなぜ減ったか、勉強しましたよね。

C: 200 海里水域。

T: 何ページに書いてあるの？

C: 101 ページにあります。

C: 生産量は減ってきていても、輸入量は増加しているので、それでいいと思います。

D⑤考えをペアやグループで伝え合わせる。

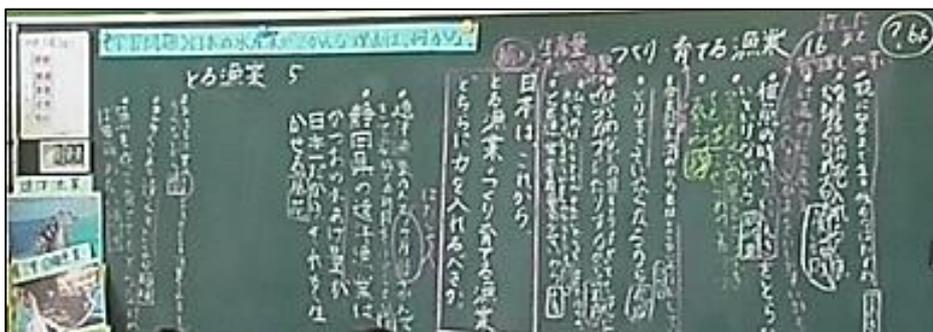
T: 他に質問やもっと詳しく聞いてみたいことはありませんか。  
近くの人と相談してごらん。

C: かつおの水あげ量が日本一を生かすって、何に生かすのだろう。(後に続く)・・・



【近くの友達と質問や反論を考えている様子】

6 最終的な自分の考えを書く。



【本時の板書】

**本時の成果と課題（○成果，●課題）**

- 自分の考えをもちやすい場面で、ペアやグループでの話し合いの時間を設定したことで、児童はこれからの水産業について意欲的に自分の考えを発言していた。また、分からないことがあれば質問をしたり、友達の考えを参考に自分の考えを書き加えたりする姿が見られた。
- 調べた事実と考えのどちらかを理由としている児童が多く、グループや全体の話し合いが深まったかどうか、疑問が残った。
- 全体の意見交流の場における教師の役割が明確になっておらず、出た質問や反対意見を基に、考えを深めさせることができなかつた。話し合いを深めることができるように、視点を設定するなどの工夫が必要である。

**次時に取り入れる手立て（記号、番号は質的改善の手引きと対応。○は、手引きにはない手立てを示す。）**

- D⑥視点を基に、考えをもたせる。
- 話し合いの視点同士を比較させ、考えをもたせる。

2 (3) 授業の質的改善のプロセス (B校第5学年)

(イ)「話し合う学習活動」における授業の質的改善

検証授業② (11月実践\_1)

本時の目標

今後の日本の自動車づくりについて「国内生産」と「現地生産」のどちらを優先すればよいか、資料を基に考え、表現することができるようにする。 【社会的な思考・判断・表現】

本時に取り入れる手立て (記号, 番号は質的改善の手引きと対応。○は, 手引きにはない手立てを示す。)

- D⑥視点を基に, 考えをもたせる。
- 話し合いの視点同士を比較させ, 考えをもたせる。

本時の授業の様子

学 習 活 動	授業の様子 (T…教師, C…児童) 質的改善を図った手立て (ゴチック)
<p>1 本時のめあてをつかむ。</p>  <p style="text-align: right;">〈学級全体〉</p> <p>【本時までの学習を振り返らせている様子】</p>	<p>T: 日本で車をつくるのは, 何生産ですか。</p> <p>C: 国内生産。</p> <p>T: 外国でつくるのは何生産ですか。</p> <p>C: 現地生産。</p> <p>T: この, どちらを優先しますか? という勉強をしていました。</p> <p>T: 国内生産を選んだ人 (挙手をさせる)</p> <p>T: 現地生産を選んだ人 (挙手をさせる)</p>
<p>めあて これからの日本の自動車づくりは, 「国内生産」と「現地生産」のどちらを優先すればよいのか。</p> <p>2 「国内生産」と「現地生産」のどちらを優先するかについて, 自分の考えを発表する。〈個人〉</p> <p>3 同じ考えの児童同士で集まり, 反対意見を考える。(つぼみタイム) 〈同じ考えの児童のグループ〉</p> <p>4 学級全体で, 話し合う。 〈学級全体〉</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>船で自動車を運ぶのは, 「早さ」の点で, 時間が掛かると思います。</p> </div> 	<p>T: 聞く人は, ノートにメモをします。この人の意見が良かったとか, 後で質問しようということを書きます。</p> <p>T: 質問や反対意見を書きます。「○○さんの～～という意見に質問です。」という書き方をします。</p> <p>T: 「国内生産」の人は後ろ, 「現地生産」の人は前に集まり, 意見を交換してください。</p> <p>C: 日本のお金がなくなるから。今の日本でつくっている分のお金がなくなる。</p> <p><b>D⑥視点を基に, 考えをもたせる。</b></p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>T: まず「現地生産」の人たちから意見を言ってもらいます。</p> <p>C: 日本の工場が減ることについて反対意見を言います。日本は日本人から買ってもらえば, 工場は減らないと思います。</p> <p>T: 工場の数のこと。どうですか?</p> <p>C: まだ分かりません。</p> <p>C: 「早く正確に間違えないでつくることができる」という意見に意見を言います。別のことで時間が掛かると思います。</p> <p>T: 「早さ」のことですね。どんなことで時間が掛かると思いますか?</p> <p>C: 船で運ぶことです。</p> </div>

C: 確かに運ぶ時間は掛かると思うけど、日本の車だから、外国で作るよりは少しは早いと思います。

C: 「他の国の人から日本の技術をまねされるかもしれない」という意見に質問です。もし日本で何かトラブルがあったときに、技術を知っておいてもらったら、教えてもらえるのではないですか。

C: 確かに、そうなったら助かると思います。

T: 今、「技術」の問題が出ましたね。「国内生産」の人たちで、技術について意見はありますか？

C: 「技術を伝えることできる」という意見があるけれど、技術をまねされても間違っていたら、意味がないと思います。

T: 「現地生産」で、技術が間違っているかもしれないってことですか？じゃあ、この意見と関連してない？「正確さ」ってことですね。

T: 「技術」や「正確さ」のことで、何か意見はありますか？

C: 国内の工場が増える方法を考えたらいいと思います。

C: 日本の技術だから、それを日本の工場の人に伝えたらいいと思います。

T: 「技術を伝える」という点に関する意見がたくさん出てきていますね。日本の自動車会社なら、日本の人に伝えるという考えと、外国の人に伝えるという意見が出ているよね。同じ「技術」のことで両方で意見が出てきますね。

C: 「現地生産」を優先すべきという人に質問です。「仕事が増える」とは、どういう意味ですか。

C: 日本の生産は減るかも知れないけれど、世界の人に仕事を増やすということです。

T: 日本のことだけじゃなくって、世界の人のことも考えているんだね。仕事のことで、何か意見がある人いませんか？

C: 外国の仕事が増えたら、日本の仕事が減ると思います。

T: 日本のことと、世界のこととを関連付けて考えたんだね。

C: タイは技術を学べるに意見を言います。技術を学べても、その車にミスがあったら、日本のせいにされるかもしれないので、日本だけでつくったほうがいいと思います。

○話し合いの視点同士を比較させ、考えをもたせる。

C: もし日本だけで作ったとしたら、世界に日本の車がなくて、輸送にお金が掛かることになります。

T: 費用のことですね。

C: 輸送費が掛かっても、日本の車だから正確に作ってあるので、後で大きなミスにつながらないからです。

T: 大きなミスってなんですか？

C: すぐに故障する。

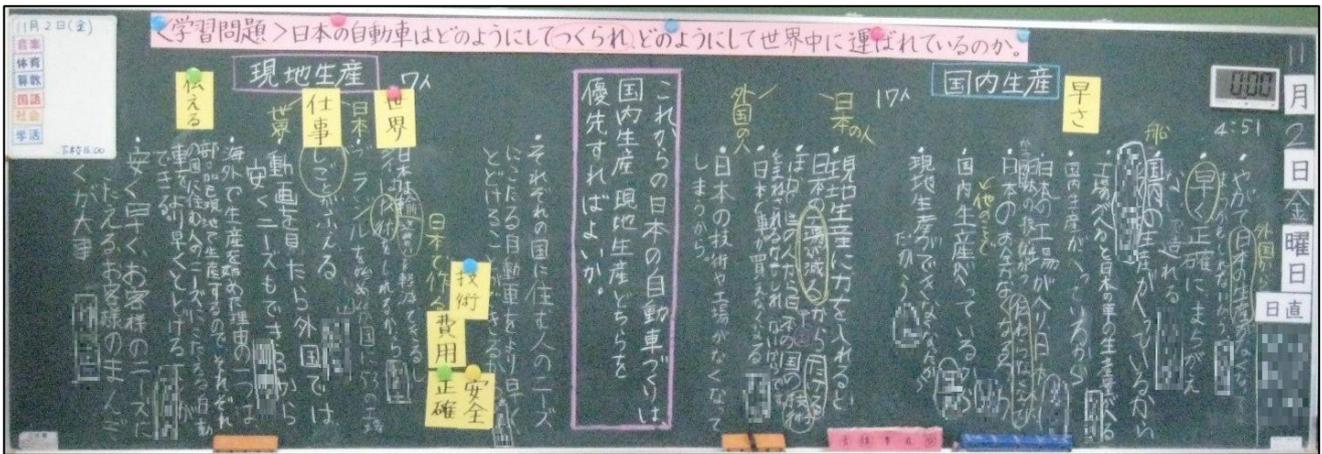
T: みんなはどっちの車に乗りたいですか？安かったら少しのミスがあってもいい？（「安全」と「費用」を比較させている）

C: 安全な方がいい。



【話し合いの視点（カード）を提示して、比較させている様子】

<p>5 自分の意見をまとめ、意見文を書く。〈個人〉</p>	<p><b>D⑥視点を基に、考えをもたせる。</b></p> <p>T: 正確だったり安全性だったりを重視するのだったら、どっちに力を入れた方がいいですか？</p> <p>C: 「国内生産」。</p> <p>T: 安全性が大丈夫なら、「現地生産」でもいいってことですか？</p> <p>T: 仕事の面でいったら、「国内生産」と「現地生産」とでは、どっちがいい？</p> <p>(挙手させる)</p> <p>T: 技術を伝えるのだったら、どちらを重視した方がいいですか？</p> <p>(挙手させる)</p>
--------------------------------	---



【本時の板書】

**本時の成果と課題 (○成果, ●課題)**

○教師が視点を示すことで、焦点化した話し合いができた。

●視点同士を比較させて話し合わせようとしたが、児童にとっては難しいようであった。まずは、視点を基にした自分の考えをもって、視点に基づいた話し合いができるようになってから、この手立てを取り入れた方がよいと考えた。しかし、社会的事象について多角的に考えさせることにつながる手立てとして継続して取り入れたい。手引きに「D⑦話し合いの視点同士を比較させ、考えをもたせる。」を付け加えることとした。



**次単元に取り入れる手立て**

D③根拠となる資料を確認する。

D⑥視点を基に、考えをもたせる。

2 (3) 授業の質的改善のプロセス (B校第5学年)

(イ)「話し合う学習活動」における授業の質的改善

検証授業③ (11月実践\_2)

本時の目標

今後の日本の自動車づくりについて「国内生産」と「現地生産」のどちらを優先すればよいか、資料を基に考え、表現することができるようにする。 【社会的な思考・判断・表現】

本時に取り入れる手立て

- D③根拠となる資料を確認する。
- D⑥視点を基に、考えをもたせる。

本時の授業の様子

学 習 活 動	授業の様子 (T…教師, C…児童) 質的改善を図った手立て (ゴチック)
1 本時のめあてをつかむ。  (学級全体)	T: みんなに今日考えてほしいテーマはこれです。
めあて 工業地帯を今後つくるとしたら、どこにつくればよいか。	
2 工業地帯の開発場所について、自分の考えを記述する。(個人)	D③根拠となる資料を確認する。  T: 教科書の8ページと資料集の77ページを見て、自分の考えを書いてごらん。書いた人は発表してください。 C: 海の近くがいいと思います。 T: なるほど。海以外では?山や陸地ではどうでしょうか。 T: 海の近くを書いた人(挙手をさせる) T: 山や陸地を書いた人(挙手をさせる) T: 自分の考えを資料を基に書いたら、すばらしいですね。
3 工業地帯の開発場所について、自分の考えを発表する。(全体)	D③根拠となる資料を確認する。  C: 高速道路の広がりがあります。 T: 資料集のどこに書いてありますか? C: 資料集76ページの… T: 写真でどれかな?これですか(根拠を確認する)? C: 工業の盛んな地域の様子です。船などですぐ運べるからです。 C: 船が使えるからです。 C: 資料集76ページに「船で輸送に便利だから」と書いてあります。 C: 教科書8ページに「瀬戸内工業地域が海の近くにある」写真があります。 T: 書いてありますね。「海沿いに広がっています」って書いてありますね。



【自分の考えを黒板に記述する児童】

今の意見の根拠はこの写真ですね。(D③)



【児童の意見の根拠を確認する様子】



【話し合う視点をカードで示す様子】

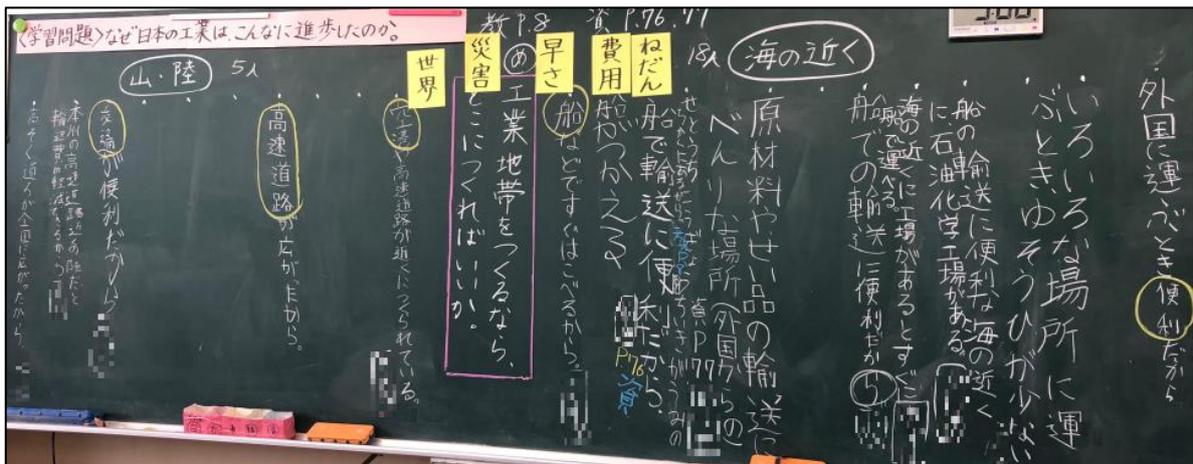


【視点を基に考えさせている様子】

- 4 質問や反対意見を出し合う。
- 5 本時のまとめをする。

D⑥視点を基に、考えをもたせる。

C：外国へ船で運ぶときに、早く船に乗せられる。  
 T：「早さ」で考えたのですね。早いのはどちらでしょうか。  
 C：海に近い方だと思います。  
 T：「費用」ではどうでしょうか。どちらがお金がかかりそうですか。  
 C：空港。  
 T：飛行機と船と車だったら、「費用」が安くすむのはどれだろう。  
 C：陸につくるのは、費用が高いかもしれない。海の近くは安いかもしれない。  
 T：外国に早く運べるのはどちらでしょうか。  
 C：船かな…？飛行機かな…？難しい…。  
 T：「早さ」で考えると、どちらでしょうか。  
 (後に続く・・・)



【本時の板書】

本時の成果と課題 (○成果, ●課題)

- 根拠が不明瞭な児童の意見に対し、適宜、根拠となる資料を問い返すことで、資料のページ数を言って発言をする児童が増えた。確実に身に付くように、次単元でも継続して取り入れたい。
- 教師が視点を示すことで、その視点に応じて考えようとする児童が増えてきた。
- 視点を次々と変えながら考えを求めているので、一つの視点について深く考えることにつながっていない。話し合いの中で一つの視点を取り上げ、「この視点について、みんなはどう思う？」「この視点について、近くの人と相談してごらん。」など、じっくりと考える時間を設定したい。



次単元に取り入れる手立て

- D③根拠となる資料を確認する。
- D⑥視点を基に、考えをもたせる。